

群青



八雲町立八雲中学校

令和8年度
4月号

★教育目標 郷土を愛し、未来を築く人間の育成
・健康な生徒(体) ・創造する生徒(知)
・実行する生徒(意) ・感動する生徒(徳・情)

★重点教育目標

「互いに認め合い、学び合う生徒」の育成

二海郡八雲町東雲町 31 番地1

E-mail : yakumo-jh@town.yakumo.hokkaido.jp

222人の凄み～恐れ入りました。

八雲町立八雲中学校長 植田 資世

過日、新入生を迎える会を実施しました。来年は是非ご参観いただきたいほどの素晴らしい会でした。内容は生徒会紹介、部活動紹介が中心です。司会の誠実な進行。生徒会メンバーによる的確で無駄のない説明。他人の頭の中に自分と同じイメージを持たせることは教師でも至難の業です。そして各部の紹介。～とにかく明るい。そして爽やか。「自己満足」がこれっぽっちもない。いわゆるウケ狙いもない、しかし盛り上がる。特に3年生の空気を読んだ声援はなるほど姿勢で示すリーダーシップ。そんな中、予定していたであろう発表がうまくいかない場面が数回見られました。出番の後見ていると、当人が本気で悔しがっているのです。心が熱くなりました。本気の証拠。細かいところでもうまくいかなかった場面は何度もありましたが、茶化したり責めたりする声は一つもない。感動です。会は進み、1年生代表の感謝の言葉。これもまた素晴らしかった。心が言葉に反映されている声の強さ、1年生らしい素直さ、相手のことだけを考えた誠実さ。そしてここでこの日最も驚かされたのが「沈黙」です。あれだけ部活動紹介で盛り上がっていた直後に1年生代表者が前に立った瞬間の沈黙。黙って音を立てない沈黙ではない、聴きたいから自然と音がなくなる「沈黙」です。222人の全校生徒が一人残らずこれをやってのける「凄み」。鳥肌が立ちました。恐れ入りました。

興奮して書き過ぎました。素晴らしい生徒だということと言いたかったのです。

さて、令和8年度が始まりました。生徒たちにご伝えました。「…認め合うためにはどうしたらいいでしょうか。それは、自分のあたりまえと相手のあたりまえが違うのだと知ることです。相手を許すことでもあります。そうやって自分のあたりまえを広げていくのです。では、認め合うとどうなるのか。安心します。安心すると人は笑うことができます。笑顔は相手の理解を進めます。互いの理解が進むと友達になれます。友達が増えていくと、『学び合う』ことにつながっていくのです。」そのうえで、「今年1年どのように過ごすかは自分で考えてください。何事もまずは自分で考えなさい。できるだけうまくいくように自分なりに考えてください。ただし失敗しても構いません。途中で誰かに助けを求めても構いません。でも自分で考えてください。自分でよくよく考えて、判断をして、行動に移して、結果に対して自分で責任をもつ。そういう人になってほしい。そのために私たちは全力で皆さんを支えます。自分で考えなさい。これが今年1年私が皆さんに求めるたった1つのことです。」…このような方針で学校経営を進めてまいります。ご理解いただきますようお願い申し上げます。

確かな学力を身につけるために!!

例年3年生を対象に実施されている全国学力学習状況調査が4月23日(木)に行われました。今年度は3教科(国語、数学、英語)の調査で、英語はクロームブックを使用しICT端末によるテストでした。

学校は、教育目標にもある通り、「知」の部分で力をつける場所でもあります。

今年度も「学力のさらなる向上」を目指して、全学年の数学の授業においてTT(ティームティーチング・習熟度別学習)を実施しております。複数の教師が授業に入り、多くの生徒に目を配り、きめ細やかな指導を進めて参りたいと考えております。ご家庭での家庭学習の指導もよろしくお願い致します。